

★2月の休館日：6日(月)、13日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(月)



プラネタリウム番組のご案内

2月の一般投影 宇宙のタイムカプセル・隕石

隕石は宇宙からやってくる岩石です。地球上に年間およそ1~2万個落ち、その中で落下隕石として報告されるのは十数個です。大きな隕石が落下するとクレーターができます。クレーターは、世界各地には約190個見つかっています。アメリカのアリゾナ州には、直径約1.2km、深さ約200mの巨大なクレーターがあります。約5万年前に直径約30~50mの隕石が落ちたと考えられています。

日本には、これまで53件の隕石落下が知られています。兵庫県では竹内隕石(朝来市)、岡野隕石(篠山市)、神戸隕石の3件の隕石落下があります。

神戸隕石は、1999年9月26日午後8時20分頃、神戸市北区の民家に落下しました。屋根を突き破り、2階の子ども部屋に飛び込んできました。幸いこの時、けが人はいませんでした。部屋の中には、黒く焼けた隕石が、10個ほどに割れて散乱していました。最も大きな破片は重さ62g、大きさは5cm程度のものでした。隕石落下の時、県内を中心とする広い範囲で火球が目撃されています。

隕石は、どこからやって来るのでしょうか。隕石を調べることで何がわかるのでしょうか。隕石は宇宙の歴史を閉じ込めたタイムカプセルのような資料です。今月は隕石の秘密についてお話しします。



神戸隕石(兵庫県警科学捜査研究所)



バリンジャークレーター(アメリカ・アリゾナ州)

キッズプラネタリウム ★幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。土日祝11:10~/14:30~

こども天文教室 ★小学4年生以上を対象に、テーマごとの天文の話題を少し詳しく解説するプラネタリウムです。どなたでもご参加いただけます。

★2/25(土)★9:50~ テーマ：宇宙の歴史

キラキラふゆのダイヤモンド

★~2/26(日)★
冬は、4つの季節の中で、1等星がいちばんたくさん見える季節です。明るい星をつなぐと、夜空に大きなダイヤモンドが見つかります。みんなで探してみましょ！



3月の一般投影 縄文時代の星空

縄文時代は1万6千年ほど前から約1万年続きました。縄文時代の人々は、どのような星空を眺めていたのでしょうか。地球の自転軸は、約2万6千年の周期で一回りする歳差運動をしています。歳差運動により、天の北極に輝く星(=北極星)は時代とともに移り変わり、日本から見える星も違ってきます。太古の星空をプラネタリウムで再現します。

特別展のご案内

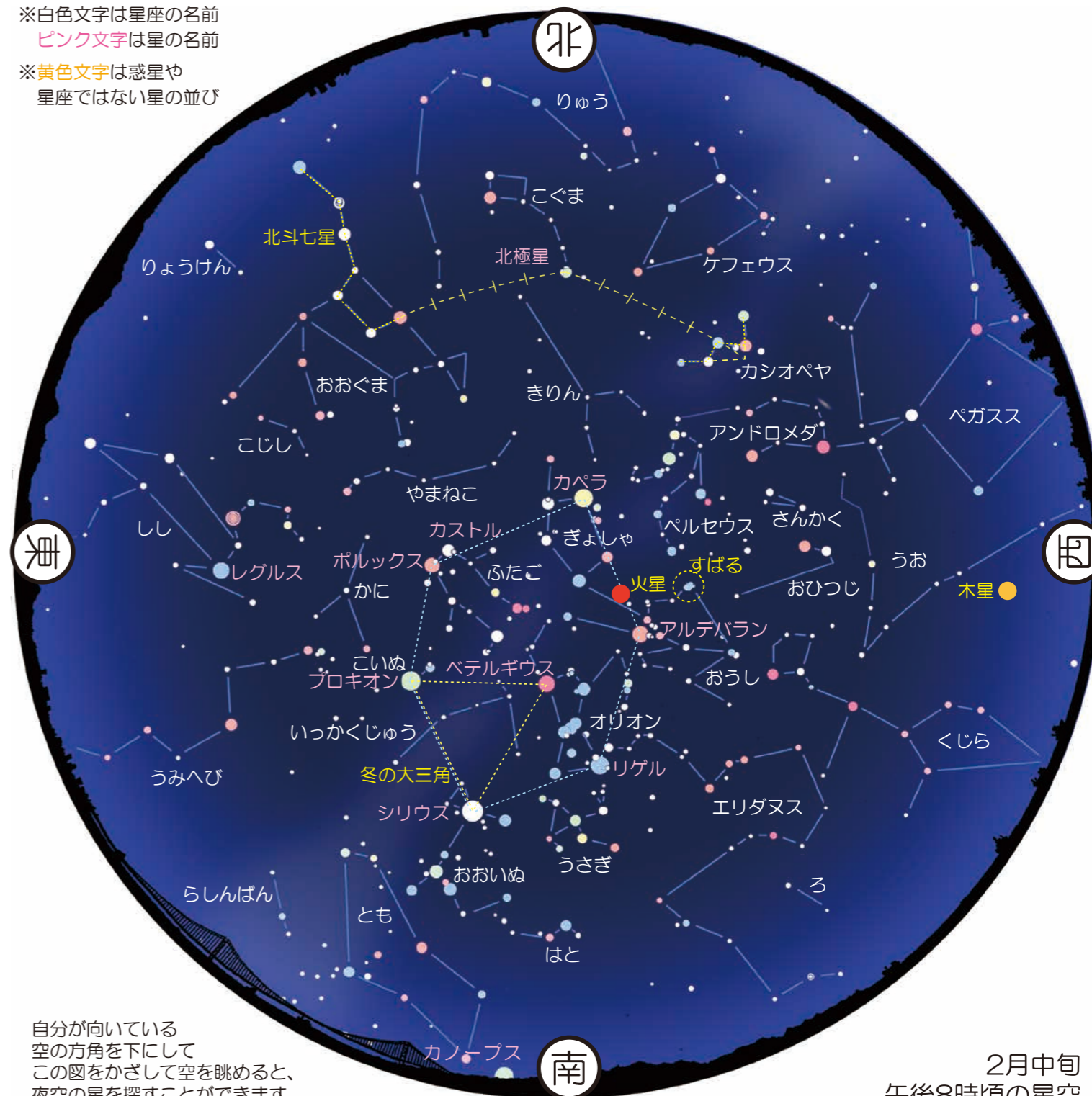
2/4(土)~4/9(日) 3Dプリンターでつくる宇宙展

宇宙を探索する探査機やロケット、小惑星などの天体の3Dデータからつくられる模型を展示。模型とともに宇宙を紹介します。



3D模型/小惑星リュウグウと小惑星イトカワ

※白色文字は星座の名前
ピンク文字は星の名前
※黄色文字は惑星や星座ではない星の並び



自分が向いている空の方角を下にしてこの図をかざして空を眺めると、夜空の星を探ることができます。

2月中旬 午後8時頃の星空

南の空を中心に、冬の明るい星たちが輝いています。オリオン座のベテルギウスを中心に、オリオン座のリゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルクス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバランの6つの1等星を繋いでできる大きな六角形は、「冬のダイヤモンド」と呼ばれています。アルデバランの近くには、赤く輝く火星が華を添えています。

日没後、西の空に木星(-2等級)と、宵の明星・金星(-4等級)が輝いています。2つの惑星は日ごとに近づいていくように見えて、3月2日には並んで輝きます。西の空が開けた所で観察するといいでしょ。

2月の月の暦

- 6日 ● 望(満月)
- 14日 ● 下弦
- 20日 ● 朔(新月)
- 27日 ● 上弦

2月の天文現象

- 4日 立春
- 17日 土星が合
- 19日 雨水
- 22日 月と金星が並び
- 23日 月と木星が並び
- 28日 月と火星が並び

3月の天文現象

- 2日 金星と木星が並び
- 6日 啓蟄
- 16日 海王星が合
- 21日 春分
- 24日 月と金星が並び
- 28日 月と火星が並び

2月の日の出・入(明石)

	日の出	日の入
1日	6:59	17:29
15日	6:46	17:43
28日	6:31	17:54